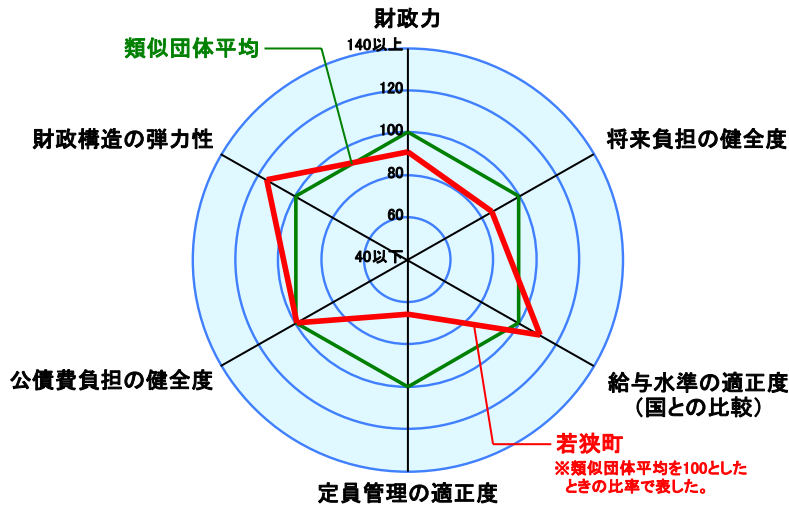
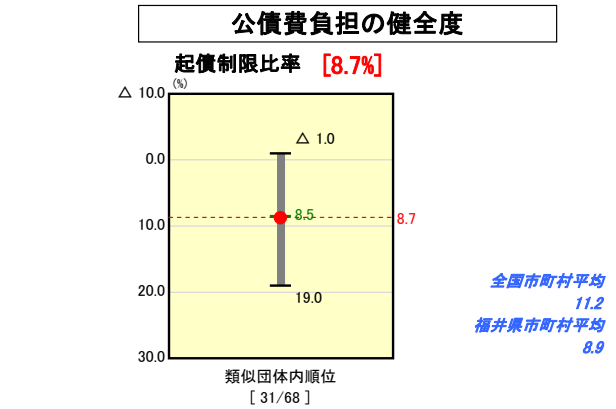
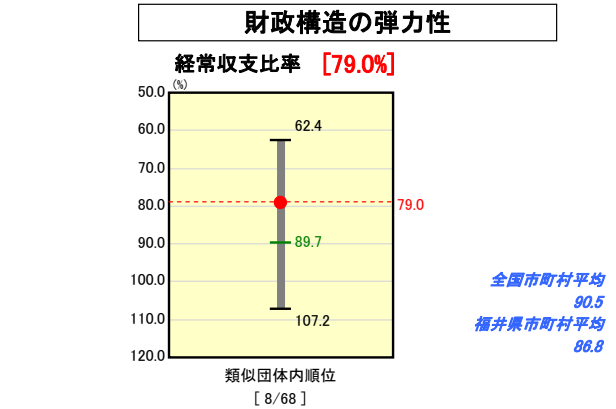
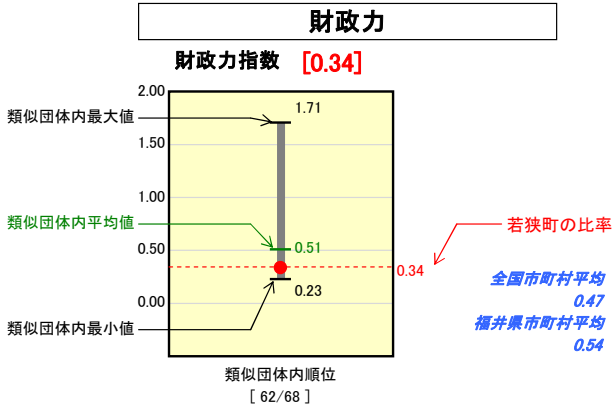


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福井県 若狭町

人口	17,321人(H17.3.31現在)
面積	178.65 km ²
歳入総額	15,375,324 千円
歳出総額	14,715,657 千円
実質収支	555,129 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

※平成17年3月31日に、旧三方町、旧上中町が合併し、若狭町となった。

●財政力指数

人口の減少や高齢化に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱いのが現状である。また、長引く景気低迷による個人・法人関係の減収が影響し、類似団体平均を下回っている。限られた財源をいかに、活力あるまちづくりを展開するため、行政の効率化に努め、財政の健全化を図る。

●経常収支比率

地方税・地方交付税の減額により経常収支比率が79.0%と前年度を上回っており、財政的には厳しい現状となっている。今後においても普通交付税の減額等により、経常収支比率の上昇が予想されるため、義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持していく。

●起債制限比率

旧町の総合計画および新町の建設計画に基づき、地域住民との意見交換を図り、計画的に適量・適切な事業実施をしてきたことにより、ほぼ類似団体の平均値となっている。今後とも住民ニーズを的確に把握した事業の選択と、より有利な財源確保に努め、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

●人口1人当たり地方債現在高

類似団体平均を上回っている主な要因として、平成10～11年度に実施した縄文博物館建設と縄文公園整備事業および平成15年度より着手した福祉・保健総合拠点施設整備事業によるものであるが、今後、新規地方債の発行抑制に努め、類似団体平均水準となるよう努める。

●ラスパイレース指数

平成14年度に実施した大幅な機構改革等により、管理職員の登用抑制と人員削減を図った結果、類似団体内、最低水準となった。合併に際し、各種手当の見直しを行うなど、より一層の給与の適正化に努めている。

●人口1,000人当たり職員数

合併日が年度末であり、今回公表された職員数は旧町の合算数であり、類似団体に比べかなり多くなっている。合併に際し、早期退職者を募り12人の人員削減を行った。合併後は集中改革プランを作成し、庁舎の一元化と機構改革および指定管理者制度の積極的な導入、臨時・嘱託職員の活用等に取組み、定員適正化計画のもと新規採用者の抑制を図り、平成22年度までに更に20人以上の職員を削減予定である。

